

(ア) 2024 年度学事歴の見方 (以下は抜粋)

2023(令和5)年度学事暦							
学事暦							
4月	日	月	火	水	木	金	土
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	1	2	3	4	5	6
5月	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
6月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
7月	25	26	27	28	29	30	1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
8月	30	31	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31	1	2

  

4 / 1 (土) 在学生履修ガイダンス
4 / 1 (土)~ 4 / 21(金) 前期履修登録期間
4 / 4 (火) 入学式
4 / 5 (水)~ 4 / 8 (土) 定期健康診断
4 / 5 (水) 新入生オリエンテーション
5 / 1 (土) 前期試験開始
5 / 13 (土), 5 / 27 (土) 健康診断日
7 / 25 (火) 補講日
7 / 28 (金) 前期授業終了
7 / 29 (土)~ 8 / 4 (金) 前期試験期間
8 / 7 (月)~ 8 / 12 (土) 補講期間
8 / 10 (木), 12 (土) 追試験日
8 / 5 (土)~ 9 / 14 (木) 夏期休業期間
8 / 20 (日) 学園受変電設備法定一斉点検日 (8/27 予備日)
9 / 1 (金)~ 9 / 14 (木) 集中講義期間
9 / 12 (水) 在学生成績通知 (前期科目のみ)

画像は昨年度のもの

- ※  この色の日は授業日となっていますが、授業担当者の急用や台風等の接近が予想される場合は授業が休校・休講となる場合があります。(台風・暴風雨の接近等に伴う対応指針参照) 突発的な休講等により、別の曜日等に補講が予定される場合があります。
- ※  この色の日は定期試験日です。聴講生は原則試験の受験はできません。

半期科目=1 週間に 1 回の授業が前期 (15 回) または後期 (15 回) に行われます

(イ) 授業時間について (1 コマ 90 分)

- 1時限 08:40 ~ 10:10
- 2時限 10:20 ~ 11:50
- 3時限 12:40 ~ 14:10
- 4時限 14:20 ~ 15:50
- 5時限 16:00 ~ 17:30
- 6時限 17:40 ~ 19:10

(ウ) 2024 年度聴講授業一覧\_科目コード順の見方

項番	学期	曜日	時限	科目コード	分類	授業コード	科目名称	担当者	教室 (仮)
例 1	後期	月曜日	1	10036	全学教養科目	1003601002	日本国憲法 b	古屋 等	11303 教室
例 2	前期	水曜日	4	21107	生活科学部 心理福祉学科科目	2110701001	人間観と倫理 A	佐々木 徹	シ 203 教室

科目コードの分類／

10×××～	全学教養科目
12×××～	文学部現代英語学科科目
130××～、135××～	文学部児童教育学科児童教育専攻科目
131××～	文学部児童教育学科幼児保育専攻科目
14×××～	文学部文化交流学科科目
15×××～	未来教養学環科目
20×××～、21×××～	生活科学部心理福祉学科科目
20×××～、22×××～	生活科学部食物健康科学学科科目
31×××～	看護学部看護学科科目
40×××～	経営学部経営学科科目
50×××～	卒業要件外科目

教室番号／ 大学の校舎は1～11号館とシオン館があります。(学園案内図参照)

左から校舎番号(「シ」はシオン館)、続いて建物の階層を表します。

例1の場合：後期・月曜日・1時限目「日本国憲法b」 11号館 3階 303教室

例2の場合：前期・水曜日・4時限目「人間観と倫理A」 シオン館 2階 203 教室

- ※ 教室については、履修者の人数により変更が生じる場合があります。授業開始直前以外はIC-UNIPAで変更の連絡が届きます。IC-UNIPAの利用ができるまでは、地域・国際交流センターにお問い合わせください。

(エ) 2024 年度 聴講生対象授業シラバスの見方 (以下抜粋)

科目コード	10026	科目ナンバリング		主な使用言語	日本語
授業名	日本国憲法				
担当教	古屋 等				
基本情報					
年次	1年	単位数	2単位	授業形式	
曜日時間	木曜3限	定修可能学科等			
関連資格		履修条件	16. 繰り返し履修と応募		
授業の概要					
<p>国家は何のために存在するのか、憲法は何を目指しているのかを、私たちの権利や自由、すなわち人権を通じて学んでいきます。国家はそもそも、私たちの権利や自由を守るために、私たちの社会契約、すなわち憲法の制定を通じて創造された、と考えられています。しかし、私たち現代に生きる人間にとって、そのような認識は実際には希薄かもしれません。でも、自分たちの権利や自由を守るためには、憲法を守ることが大事であることはお分かりいただけるでしょう。私たちの人権も、他の人々に対して悪影響を及ぼさないように、その行使に一定の制限があることが、憲法自身によって「公共の福祉」という言葉によって宣言されています。その制約の程度は、人権の種類によって異なってきます。では、人権にはどのような種類があり、どの程度、保障されることになるのでしょうか。また、それらが他の人々や、法律などの国家権力によって不当に侵害されることになった場合には、どのように救済されるべきなのでしょうか。以上のようなことを学んでいくことが、この授業の主なテーマです。</p>					
キーワード					
憲法、統治権、基本的人権、国民主権、三権分立、法の支配、平和主義、個人の尊厳、法の下での平等、公共の福祉、自由権、参政権、複合権、違憲審査					
学位授与方針との関係					
▼知識・技能					
到達目標	憲法と基本的人権や国家権力との関わりについて理解することができる。				
評価方法	小テスト、期末テスト	評価割合	50%		
▼思考力・判断力・表現力					
到達目標	基本的人権はその社会的な影響力や平等で民主的な国家の形成のために、法律による一定の制約を受けることについて、「公共の福祉」の原理と関連づけて理解することができる。				
評価方法	小テスト、期末テスト	評価割合	40%		
▼字様に主体的に取り組む態度					
社会において生じる問題について関心をもち、その原因を追究し、法的な知識に基づいて解決する態度を身に付ける。					
評価割合	5%				
▼実践的ポラリティズム					
該当なし					
評価割合	0%				
▼公正性					
法をめぐる当事者の権利や利益を公平に尊重し、相互の主張や利害を比較考量した上で、双方が理解できる適切な解決を導くことができる。					
評価割合	5%				
▼その他					
該当なし					
評価割合	0%				
授業計画					
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス</li> <li>2 近代憲法の意義</li> <li>3 近代憲法の特徴</li> <li>4 国民主権の原理</li> <li>5 前文と平和主義</li> <li>6 第9条と戦争放棄</li> <li>7 基本的人権の概念</li> <li>8 基本的人権の種類</li> <li>9 基本的人権の限界</li> <li>10 精神的自由権Ⅰ</li> <li>11 精神的自由権Ⅱ</li> <li>12 経済的自由権Ⅰ</li> <li>13 経済的自由権Ⅱ</li> <li>14 受益権・社会権</li> <li>15 違憲審査</li> <li>16 定期試験</li> </ol>				
使用テキスト	上野泰彦・古屋 等『国家と社会の基本法』(第5版)(成文堂) 2500円+税				
予習・復習のポイントと参考文献・資料等	授業資料のほか、板書に代わるレジュメを配布します。重要なポイントやキーワードは、レジュメに記入したりマークしてもらいながら説明しますので、配布物をきちんとつづっておいてください。それらをもとに小テストを実施し、小テストやレジュメのマーク部分をもとにして期末試験を実施しますので、間違ったところや理解が十分でなかったところは、繰り返し復習をしておいてください。				
誰がいのある履修者への対応	対応可				
授業時間外の連絡手段	第1回目のガイダンスで説明する電子メールにて連絡				
留意事項	履修の指定はありませんが、板書や配布物の便宜のため、できるだけ前方に座ってください。私語は禁止していますので、質問以外の場合は、授業に集中してください。				

シラバスはあくまで当初予定です。教員や履修者の状況により変更します。ご了承ください。また、テキストや留意事項について改めてご確認のうえ授業に参加ください。

学科の表記について／（履修可能学科・専攻参照）

E	現代英語学科	Department of Contemporary English
P	児童教育学科	Department of Elementary Education (Pedagogy)
Pe	児童教育学科 児童教育専攻	Elementary Education Major
Pc	児童教育学科 幼児保育専攻	Child Care Major
C	文化交流学科	Department of Cross-Cultural Studies
F	食物健康科学科	Department of Food Sciences
W	心理福祉学科	Department of Psychology and Welfare
N	看護学科	Department of Nursing
M	経営学科	Department of Business Administration (Management)

・ご不明な点は、1号館5階地域・国際交流センターへお問い合わせください。

